

令和5年度モニタリングシート

【施設名等】

施設名	大洲城	位置	大洲市大洲 903 番地
指定管理者名	一般社団法人 キタ・マネジメント	所管課	大洲市役所 観光まちづくり課 Tel0893-24-1717

【施設の概要】

設置年月日	平成 16 年 9 月 1 日	構造	天守:木造4階建 台所櫓:木造2階建 高欄櫓:木造2階建
設置目的	大洲市のランドマークとして、木造天守を平成 16 年に復元。天守と連結する国指定重要文化財である台所櫓及び高欄櫓とともに、文化財として保存伝承しながら、大洲市の観光資源としての活用を図る。		
施設機能	大洲城天守、台所櫓、高欄櫓、多間櫓、北多間櫓、西多間櫓 その他施設(本丸敷地、御門番長屋、園路)		
利用料金等	大洲城普通観覧料:大人 550 円、小人 220 円 2施設共通観覧料(大洲城・臥龍山荘):大人 880 円、小人 330 円 3施設共通観覧料(大洲城・臥龍山荘・盤泉荘):大人 1,100 円、小人 440 円		
開館・閉館	開館:午前 9:00 閉館:午後 5:00(札止:午後 4:30)		
指定管理業務内容	<ol style="list-style-type: none"> (1) 施設の管理運営に関する事 (2) 誘致及び施設の利用促進に関する事 (3) 施設の利用許可に関する事 (4) 観覧料、使用料等の収受に関する事 (5) 情報発信事業に関する事 (6) 利用者の安全の確保に関する事 (7) 個人情報保護に関する事 (8) 業務報告に関する事 (9) 管理運営のための体制の整備に関する事 (10) 施設賠償責任保険に加入する事 (11) 施設及び設備並びに備品の維持管理に関する事 		
施設管理体制	平日 2~3 名 土日祝 3~4 名体制。 その他、キャスルスステイ実施日、またツアー状況によって人数の増員を行う。		

【施設利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
R5年度	4,046	5,674	2,502	2,825	4,460	3,177	3,791
R4年度	2,999	4,663	1,891	2,284	3,677	2,455	3,781
比較	1,047	1,011	611	541	783	722	10
	11月	12月	1月	2月	3月	計	
R5年度	5,153	3,270	2,993	3,310	5,093	46,294	

R4年度	5,214	2,884	2,270	2,517	4,908	39,543	
比較	▲61	386	723	793	185	6,751	

【指定管理者としての収入・支出(決算)】

収入内訳	収入金額	支出内訳	支出金額
指定管理受託料収入	1,644,552	仕入高	2,812,505
大洲城入館料収入	19,526,401	人件費	18,725,457
大洲城物販売上	6,900,475	水道光熱費	792,747
施設使用料収入	9,528	通信費	133,321
その他収入	250,157	消耗品費	1,299,454
		修繕費	504,431
		その他経費	2,334,135
		減価償却費	277,666
合計	28,331,113	合計	26,879,716

【サービス向上に向けた取り組み】

R5年度	<p>11月3日大洲まつり協賛として、大洲市民限定で入場料無料として大洲城に足を運んでいただく機会とした。</p> <p>「JR町並散策パスポート」切符をご提示のお客様や「JAL麗らか四国」パスポート」をご提示のお客様への特典事業に参画して観覧料割引を行った。</p> <p>愛媛県が行うチェジュ航空ご利用のお客様への割引券配布に参画して、大洲城入場料を半額とした。(愛媛県半額負担)</p>
R4年度	<p>今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながらの営業となりました。お客様へは入場時、検温、手指消毒のお願いをいたしました。お客様の手に触れる機会の多い城内階段の手すりや靴箱鍵、スリッパは、職員による定期的なアルコール消毒を行いました。スタッフ全員が、お客様へ大洲城のご案内ができるように、スタッフの城内案内研修を行いました。チケット料金においては、キャッシュレス支払いに対応可能となりました。</p>

【利用者から要望と対応状況】

利用者からの苦情・要望等	利用者からの苦情・要望への対応
① 大洲城へお越しのお客様が利用する二の丸のトイレの洋式化、昼間の電灯点灯について	① 二の丸北側のトイレについては、隣接する石垣修理とともに改修の予定のため、改修時期は未定と認識している。
② 車いすで城内を見学希望のお客様対応について	② 見学希望は事前予約とし、本丸までの車の乗り入れ、城内への車いす乗り入れのためのスロープ、城内見学用の車いす、段差解消スロープを準備して対応する。
③ 台所櫓グッズ売場に段差があり、お客様がつかまzuk。	③ 段差解消スロープを作成し、常時設置して対応する。

④ グッズ売場が暗い。	④ グッズ売場が暗く、商品が見えにくいので電池式ライトを1つ設置したが、ライトが小さく効果が少ないことと電池の消耗が早いのでコンセントにつなげるライトを増設する。
-------------	---

【指定管理者の自己検証】

今年度の施設利用者数は年間 46,294 人、対前年比 117%(6,751 名増)です。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行して、年間のお客様は 4 万人を超えました。3月4月の桜の季節、11月の行楽シーズンの団体お客様入場も定着しており、4月は昨年度より 1,000 人のお客様増となりました。

外国人のお客様が増え、特にチェジュ航空割引券利用の韓国のお客様が多く、今年度は 2,383 名となり、入場者数増の要因となっています。共通券は大洲城臥龍山荘盤泉荘3施設共通券の購入が増えました。引き続き、チケット販売時には共通券を紹介して町並みへ足を運んでいただくよう対応いたします。

グッズ売上は 7,582,225 円、対前年比 123%となりました。引き続き御城印の人气が高く、夏の限定花火御城印と秋の限定もみじ御城印は 1 か月の販売期間を設け、春の限定さくら御城印も大洲市のさくらまつり期間に合わせて 1 か月の販売期間といたしました。

冬の限定新春ご城印は、お客様より「販売期間が短いので購入を諦めるお客様もいる」と伺ったので、来年はご意見を生かして販売期間を改善いたします。

仕入先とともに新商品の開発を行いながら、販売商品のブラッシュアップを行っていきます。

毎日の業務では、城内城外の清掃活動や点検、修繕を行い、大洲市の貴重な文化財である大洲城の維持管理を行っています。

大洲市民に大洲城を見ていただきたい思いから、11月3日大洲まつり協賛として市民限定で入場料無料といたしました。今年度は大人 83 名小人 31 名の入場となりました。おまつり村の緑地公園や町並みから大洲城は少し離れていますが、足を運んでいただくきっかけとして次年度以降も続けてまいります。市内小中学生の遠足や総合的学習の受入も引き続き行っております。城内案内を通じて、子供たちが大洲城を未来へ繋いでいく気持ちを育む手助けを行ってまいります。

営業時間外の大洲城の活用として、今年度も「キャスルスステイ」、「ナイトツアー」を実施いたしました。キャスルスステイは21件の受注があり、地元出身者のキャスルスウェディングも行い、新たな利用の形も実現できました。キャスルスステイのお客様は、宿泊だけでなく昼間、案内人と一緒に町並散策や川下りなどのコンテンツを利用して、大洲をまるごと楽しんでいらっしゃいます。

ナイトツアーはニッポニアホテル宿泊者限定のコンテンツとして、普段は見ることのできない夜の大洲城を満喫していただきました。キャスルスステイのメディアの取材も多く、全国へ大洲城の取り組みが放送されたことで、「実際に泊まる場所を見たい」と大洲城へ足を運んでいただくお客様も増えました。

JR 四国の「伊予灘ものがたり」の伊予大洲駅甲冑お出迎えや、お客様にお声掛けをして参加いただく大洲城からの旗振りは好評でコンテンツとして定着しています。午前便のスタッフによる伊予大洲駅での甲冑お出迎えでは、ホームでの声掛けやパンフレットの配布で、大洲城への来城のきっかけになっております。

午後の便では地元住民や大洲城観覧のお客様と一緒に列車に向かって旗振りを行っています。観光列車への旗振りイベントは、大洲城ならではの思い出の一つになっていると実感しております。旗振りもメディアで取り上げられることが多く、旗振りの行われる土日を選んで訪れるお客様もいらっしゃいます。

その他にも、7月28日世界肝炎デー、11月12日世界糖尿病デーでは、愛媛大学附属病院様、市立大洲病院様の大洲城ブルーライトアップ、今年から新たに、9月8日、9日には愛媛県立中央病院様の小児がん啓発大洲城ゴールドライトアップを行い、予防啓発活動を実施いたしました。ライトアップした大洲城は、市民が活動への理解を深めていただくきっかけになっております。	
--	--

【施設所管課の検証・評価】

仕様書に基づいて施設の管理運営がなされている。御城印は、季節限定を販売するなどして売り上げにつながっている。その他の商品についても工夫しながら販売し、売り上げを引き続き伸ばしていただきたい。 キャスルスティがメディアなどで多く取り上げられているため大洲を知っていただく機会となっている。「伊予灘ものがたり」の伊予大洲駅甲冑お出迎えや声掛けにより大洲城への来城へのきっかけとなっており、旗振りイベントの実施により観光客と住民の交流の機会にもつながっている。メディア等で取り上げられていることを上手く活かしつつ、現状に満足することなく引き続き積極的に営業活動等、利用客増加対策を図られたい。	
--	--